

## 2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 銀山学園

### 実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業	利用定員 A	一日平均の 利用者数 B	年間の事業 実施予定日 C	実利用目標 (年間述人数) D	利用率目標 (D/A×C) E
施設入所支援	100 名	94.2 名	366 日	34,500 名	94.2%
生活介護	130 名	121.8 名	270 日	32,900 名	94%
短期入所	4 名	名	日	名	%
	名	名	日	名	%

### 職員体制(4 月 1 日)

職 種別(平成17年度)

職 種	員 数	区 分				常勤換算後の職員数	摘 要
		常 勤		非常勤			
		専従	兼任	専従	兼任		
管理者	1				1	0.1	
サービス管理責任者	3	1	2			1.2	
医師	(1)						
支援員	70	47		6	17	57.8	
看護師	4	2	2			3.5	
栄養士	1	1				1.0	
事務員等	6	5	1			5.1	
その他	1	1				1.0	
合 計	86						

### 重点推進目標(3 点)

<p>○ 計画相談、個別支援計画による個別支援の充実</p> <p>個々の生きづらさをくみ取り、個別に配慮すべきは何かを考え、共有し支援計画策定過程でのアセスメント力を高める。</p> <p>日中活動の充実～企画の推進とその実践力の向上</p> <p>～権利擁護の推進 意思決定支援 差別解消 への取り組み ～</p>
<p>○ コミュニケーション面談の継続とメンタルヘルスの取り組み、継続。</p> <p>支援上の行き詰まりや戸惑い、困難性を相互に共有し、利用者との関わり方を日頃から振り返る機会をつくり、支援者個々の成長度合い相互に評価しあえる環境づくりを目指す。</p> <p>～メンタルヘルスチェック、メンター制度、スーパービジョンの機能強化 組織機能の充実～</p>
<p>○放射線防護対策と防災設備整備、の推進。</p> <p>原子力災害時、自然災害による孤立化した場合の屋内退避に耐える設備整備と資機材の整備。</p> <p>国庫補助により、実施。施設内の気密化をはじめ、空調設備の整備を進めたい。</p>

## 施設整備計画

○建物の老朽度調査 経年劣化を客観視し、ニーズや制度の変遷に対応できる整備計画の目安としたい。	【予定額】	千円
○原子力防災、放射線防護対策事業の取り組み 平成30年度補正予算による国庫補助。	【予定額】	405,050 千円
非常時の備蓄資機材		3,000 千円
○	【予定額】	千円

## 設備整備計画(車輛更新含む)

○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円

## 支援計画

☐ 日常生活支援
 

基本的な生活習慣の自立を目指すための適切な支援の提供  
 安心・安全のためのリスクマネジメントを継続して強化。  
 個別支援計画策定にあたっては、支援現場の日ごろのアセスメントから、サービス管理責任者のもと策定し、利用者の心身の変化に対応する。

(具体的生活支援)

食事＝季節感や変化に富んだ献立と栄養、利用者の身体状況に配慮した食事提供  
 月1回給食運営会議開催し、利用者さんの希望を聞き取り、委託業者とも連携して満足のいく食事提供にしていく。

排泄＝利用者の心身の状況に応じた支援。

入浴・睡眠・着脱衣・歯磨き、洗面を含む、整容・シーツ交換、移動  
 ＝利用者の生活リズムを尊重し、快適清潔な生活をすごせるよう支援。

相談支援＝日々の困りごと等、個別に面談して、対応できるよう支援していく。

☐ 日中活動支援
 

生活ユニットの活動とは別に、活動場所や活動内容を分散して支援。安心して通える日中活動として今年度も継続。

○働く喜び・活動する喜びを享受できる活動と支援の提供  
 ○他者と共に創り出す喜びを味わうことができる活動と支援の提供  
 ○自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことができる活動と支援。

☐ 居住環境整備
 

○快適な日常生活環境を支えるための個別的な支援の提供  
 ○自立と安全が適切に確保される支援の提供  
 ○プライバシー空間の確保のため、創意工夫をして個別環境を整備する。

＜具体的な整備内容＞

清掃・洗濯・整理整頓・安全管理を本人の自立を妨げないように配慮し、かつ自立的な取り組みが促進されるよう、具体的・個別的な生活場面での支援を提供する。

□ 保健医療

○日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかるための支援を提供する。

○健康に対する知識を習得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚できるよう支援する。

○感染症対策は、予防を第一に考え、職員の統一した支援により、もちこまない、広げない、を支援する。

○医療情報のデータベース化を促進する。

＜具体的な支援＞

健康管理＝嘱託医による往診。看護師による診察、疾病予防、健康管理。

腫瘍マーカーの検査を希望者に導入、癌の早期発見・早期治療に役立てる。

服薬管理・通院治療

＝常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を提供する。

入院中のサービス

＝安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う。

研修の参加＝必要な人に必要な支援を提供するために、職員を研修に派遣する。

□ 社会生活支援

○個別的なコミュニケーション手段を工夫して、自己管理ができるような支援を提供する

○日常の社会生活が個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供する。

＜主な取り組み＞

・銀山地域行事への参加 日常生活に密着した地域参加

・地域のひとたちと介護予防の取り組みで健康教室への参加やフマネットへの参加

・銀山女性の会の指導による、料理教室の開催、スコップ三味線の演奏活動に取り組み、活動の成果を発表できる取り組みを目指す。

・当事者活動への支援 ユニット連絡協議会、銀山・大江・陽だまり連合会の活動への支援、継続。

＜具体的な支援＞

コミュニケーション・自己管理～一人ひとりの信頼の関係を基本としてコミュニケーションを確保し、自己管理ができるよう、適切に支援する。

日常・社会生活上の支援～生活に係る様々な情報を提供しつつ、楽しみと潤いのある生活を選択し、自らの意思で決定できるよう支援を行う。

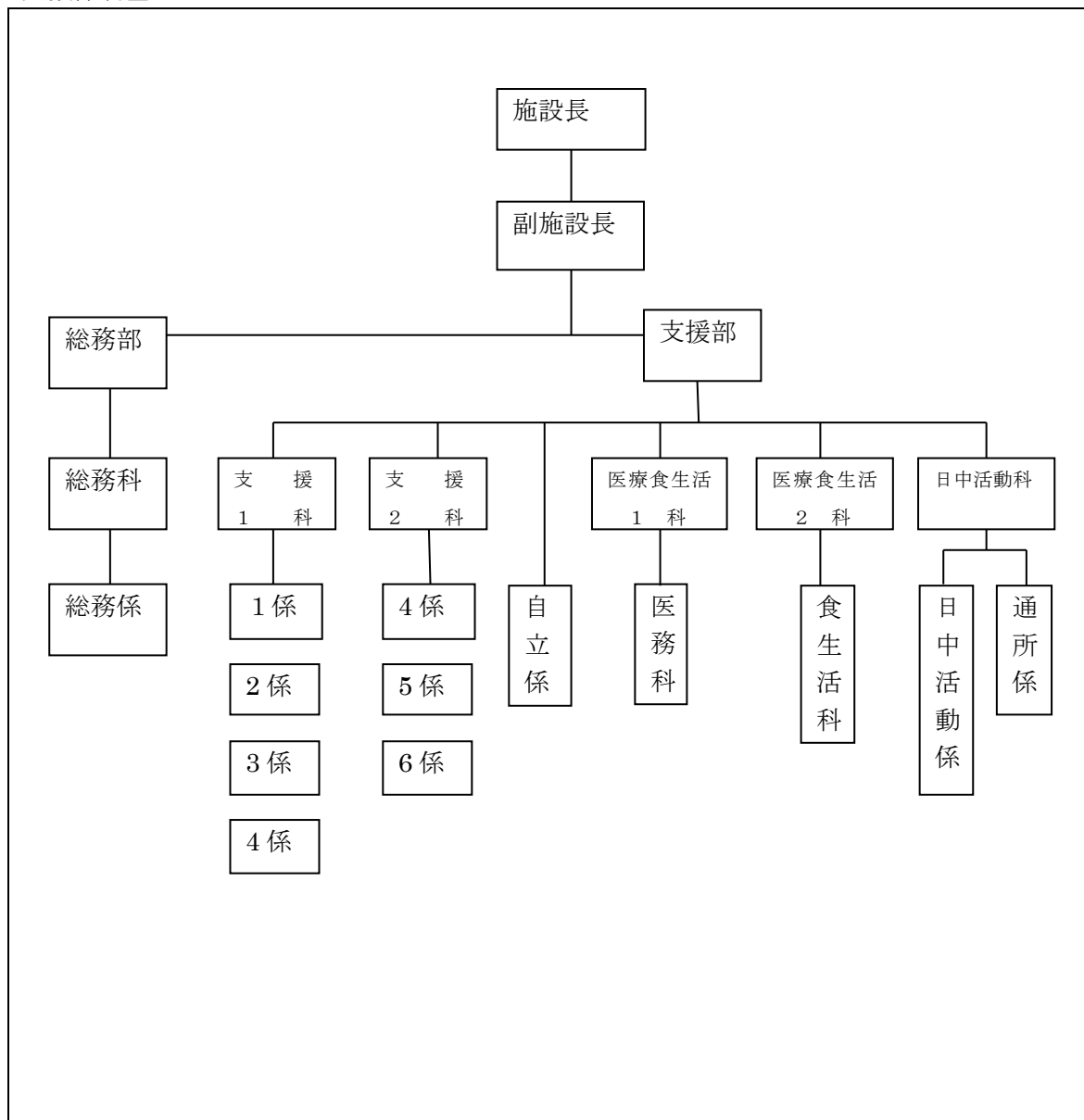
□ 地域生活支援

本人の希望を尊重した個別支援計画に基づく 暮らしの場の選択・・・地域移行等。

□ 就労(移行)支援

本人の希望を尊重した個別支援計画に基づく就労の機会等。

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
家庭訪問・花見会・山菜とり	4月5月6月	家庭訪問 年5回
一泊旅行・夏のレクリエーション	6月	
さくらんぼ狩り・七夕・ピアガーデン	7月	
ぶどう狩り・神社祭・ふれあい祭	9月・10月	ふれあい祭りは第49回。
食の祭典・クリスマス会・忘年会	11月・12月	
春のお楽しみ会	2月	
ひな祭り	3月	
当事者活動のスポーツ大会・研修会等		フライングディスク・パークゴルフ。ピュアカウンセリング 等

### 会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
運営会議・拡大運営会議	毎月	拡大運営会議はコミュ面実施後。
サポート会議	毎月 1 回	支援困難事例のグループワーク等含む。
支援部、科長・係長 会議	毎月	
食の提供に関する月例会議	毎月	委託業者との定例会議 要望や改善点の確認、協議
給食運営会議	毎月	利用者自治会役員も出席。年3回家族会役員も参加。
ユニット会議	毎月	生活単位でユニット毎 開催
リスクマネジメント委員会	毎月	事故・ヒヤリハットの発生状況、背景分析、検証 虐待防止検証
権利擁護委員会	四半期ごと	虐待防止チェック、検証。意思決定支援の確認
自閉症、介護勉強会	毎月1回	全職員対象で実施
日中活動チーフ会議	年3～4回	個別課題の充実を目指して 活動内容の企画会議
地域参加委員会	適宜	
ボランティア委員会	適宜	
学園だより委員会	適宜	
行事委員会	適宜	

### 研修計画(施設・事業所内研修)

研修名	実施日	摘 要
新規職員研修	毎月	新卒、中途採用者を対象として基礎知識の研修
園内自閉症、介護勉強会	毎月	全職員対象として実施
内部研修会	年2回	外部講師を招き支援力向上に向けた研修
中堅職員研修	年1回	中堅職員及び係長向け内部研修

### 研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
施設長研修会・セミナー		
全道施設関係職員研修会		
全国施設関係職員研究大会		
全国施設部会職員研修会		
幹部職員研修会		
権利擁護・虐待防止研修会		
強度行動障害基礎研修・実践研修		
サービス管理責任者 研修及び更新研修		
新人職員研修		
専門研修（介護・医療・発達等）		

## 権利擁護の推進方針

- 権利擁護推進委員会 4半期ごとに開催  
虐待防止のための職員セルフチェックを四半期ごとに実施。  
集計、分析の作業を通して、日々の支援の中で、利用者との関わりについて具体事例を掘り下げ、その対応については、考え方を全体で共有していく。  
毎月の各ユニット利用者会議での要望、苦情等の確認、意思決定支援の充実を図る。  
個別支援の充実を目指す。アセスメント力の向上。スーパービジョンの機能充実を目指す。

## コミュニケーション面談実施計画

- 日々の支援で困難さを実感する場面や戸惑う場面がある中で、支援職員が一人で抱えないよう、役職者と支援員等が個別に定期面談。働く環境の改善につなげたい。組織内のホウ・レン・ソウが十分に機能しているか自主点検する機会でもあり、メンタルヘルスの取り組みと合わせて、職員相互に、想いをしっかり伝え合える環境にしたい。これまでは、職員個々の困りごとに着目した定期面談をしてきたが、支援の多様化の中で、支援者としての社会的な貢献度合を相互に確認し、日々意欲増進につなげられる面談を目指したい。

## 職員健康診断実施計画

- 全職員に対し年1回 定期健康診断、メンタルヘルスチェックを実施 5月頃  
夜間勤務職員に対し年1回定期健康診断の実施 10月頃

## 施設・事業所の構造

建 物	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造り陸屋根平屋建
	延べ面積	延べ面積 4,740.685㎡ 内 訳 居室 一人部屋 62室 806.44㎡ 2人部屋 26室 390.0㎡ 医務室 1室 39.78㎡ 食 堂 1室 260.71㎡ 浴 室 2室 93.8㎡ 洗面所 5室 110.52㎡ 便 所 7室 213.26㎡ 多目的室 1室 161.5㎡ 作業棟 1室 91.52㎡（ログハウス） 1室 162.295㎡（交流センター） 1室 77.76㎡（農場作業棟） 活動棟 1室 134.42㎡（日中活動棟） 相談室 1室 35.2㎡
敷地面積		35,646㎡